

三山時代～琉球王朝時代(14世紀～19世紀後半)

中国との交易を支えた中継地

中国との進貢（しんこう）貿易が盛んだった時代、座間味島は航海路上の避難港や風がやむのを待った「風待ちの港」として重要な役割を果たしてきました。